

情報活用能力の育成

～情報を収集、整理・分析し、分かりやすく表現する子～

研究仮説

教科・領域等のあらゆる学習において、問題を解決するために、コンピュータなどの情報手段を適切に活用することで、情報を収集、整理・分析し、相手や目的に応じて分かりやすく表現することができるであろう。

	低学年	中学年	高学年
情報収集力	身近なところから課題に関する情報を収集することができる。	目的に応じた情報メディアから必要な情報を収集することができる。	目的に応じた情報メディアを選択し、多様な方法で情報を収集することができる。
情報整理力	情報の大体を捉え、自分の言葉でまとめることができる。	情報の全体的な特徴や要点を捉え、自分の考えをまとめることができる。	目的に応じた方法で情報を整理し、問題に対する解決策を考えることができる。
情報表現力	相手を意識して、分かりやすく表現することができる。	相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせて表現することができる。	目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせて表現することができる。



実践事例を紹介します

1年

国語科 「しらせたいな、見せたいな」

- ◆【収集】校内で飼育しているチャボを観察し、家族に知らせたいことを見付け、タブレットPCで撮影し、情報を残すことができる。
- ◆【整理】タブレットPCで撮影した写真に直接メモをしたり、友達に説明したりして知らせたいことを選び、短冊カードに書くことができる。
- ◆【表現】短冊の並べ方を考えることで、文と文のつながりに気を付けて、分かりやすい文章を書くことができる。



2年

生活科 「まちが大すき たんけんたい」

- ◆【収集】生活科見学で学習したことの中から、調べたいことを写真に撮影し、情報を残すことができる。
(カメラ機能)
- ◆【整理】撮影した写真などの情報を見返すことで、伝えたいことを明確にすることができる。
- ◆【表現】見学で学習したことを写真などに記録することで、自分の伝えたいことをまとめ、発表することができる。



3年

社会科 「はたらく人とわたしたちの暮らし」

- ◆【収集】調べる内容に応じて、情報の収集方法を選択することができる。(インタビュー、Web サイト、資料集、見学)
- ◆【整理】めあてに沿って収集した情報を読み取り、特徴を捉えることができる。(付箋にメモ作り、表、関係図)
- ◆【表現】連携・協力している関係機関の働きを関係図に整理しながら、文章にまとめることができる。(ワークシート、ノートの記述、発言)



単元の目標を達成するとともに、情報活用能力を育成するための学習場面を3つの視点に沿って設定しました。

【情報収集力】【情報整理・分析力】【情報表現力】

4年

総合的な学習の時間 「人にやさしく」

- ◆【収集】疑似体験や調査活動を通して収集した情報をタブレットPCに保存、共有することができる。
- ◆【整理】収集した情報を目的に沿って読み取り、自分の考えをまとめることができる。また、友達と自分の意見を比較し、自分たちができることを考えることができる。
- ◆【表現】自分たちができることについて、タブレットPCの共同編集機能を使って話し合い、実践したことを報告することができる。



5年

社会 「情報化した社会の産業の発展」



- ◆【収集】調べるテーマやキーワードを厳選して提示することで、めあてに沿った必要な情報を取捨選択しながら収集することができる。
- ◆【整理】毎時間調べたことをワークシート形式のスライドに整理しながらまとめることを積み重ね、単元全体を通した学習問題の解決に生かすことができる。
- ◆【表現】スライドに整理したことをもとに、考えたことや判断したことを文章に記述したり、伝え合ったりすることができる。

6年

国語 「聞いて、考えを深めよう」

- ◆【収集】個人で収集した情報をタブレットPCの画面共有機能で共有することで、多くの情報の中から必要な情報を精選することができる。
- ◆【整理・分析】イメージマップやベン図などの思考ツールを活用し、調べたことや自分の考えを目的に応じて分かりやすく整理することができる。
- ◆【整理・分析】タブレットPCの共同編集機能を活用し、ペアやグループで情報を共有して整理することができる。
- ◆【表現】タブレットPCの共同編集機能を使って話し合い、収集した情報に自分の考えや話す順序・分担を加え、伝えたいことを明確にして伝えることができる。



特別支援教室「そよかぜ」

自立活動 題材名「協力言葉あて『ヒントでGO』」

- ◆【収集】社会的場面で、他者が発する様々な情報に注意を向けて、情報収集ができる。
- ◆【整理】社会的場面での文脈と収集した情報から、他者の意図や感情を理解し、状況理解ができる。
- ◆【表現】状況に応じた適切な言動を選択し、表現方法を考えて意思表示ができる。



課題解決に生かす情報活用能力育成場面

情報収集力

- 課題解決に必要な情報を収集するための方法を学ぶ場面を設定する。
- インターネットや本などから収集した情報をタブレット PC の画面共有機能で共有し、必要な情報を精選する。
- タブレット PC の撮影機能を使って撮影した写真に気付いたことを直接入力し、共有する。

情報整理・分析力

- タブレット PC の共同編集機能を使って類似点や相違点などの観点で分類し、整理する。
- イメージマップやベン図などの思考ツールを活用し自分の考えを視覚的に分かりやすく整理する。
- 収集した情報を付箋や短冊などに記入して整理し、自分の考えを明確にする。

情報表現力

- タブレット PC の共同編集機能や短冊を活用し、情報を関連付けて分かりやすく表現する。
- タブレット PC の共同編集機能や付箋を使って、ペアやグループで考えを共有し、より広い視野で自分の考えをまとめる。
- タブレットの動画撮影機能で撮影した自分の音読や動きの動画を見て、より良い表現の工夫を考える。

ご指導いただいた先生方

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| ○東京都多摩教育事務所 指導課 指導主事 | 森山 健史 先生 |
| ○東京都多摩教育事務所 指導課 指導主事 | 佐藤 宗一郎 先生 |
| ○西東京市教育委員会 教育部 教育指導課 教育指導課長 | 山縣 弘典 先生 |
| ○西東京市教育委員会 教育部 教育指導課 指導主事 | 長峯 貴弘 先生 |
| ○西東京市教育委員会 教育部 教育指導課 指導主事 | 田邨 佳宏 先生 |